

# 新政レポート

今期最終版

vol. 19

令和4年8月12日

発行元

舞鶴市議会  
新政クラブ議員団  
責任者/幹事長 上野 修身

## 地方から政治を変える取組

# 「全国議会改革度調査2021」の トップランキング

舞鶴市議会11位にUP! (前年32位)

### 重点3分野

- ① 情報共有
- ② 住民参画
- ③ 議会機能評価

### 自治体区分ランキング・エリア別ランキング



## 議会改革度調査2021

単純集計③  
【基礎情報】

※本調査は、ユニバーサルデザインを考慮しています。  
※集計の総数は、1,255の自治体となります。(p.1, 255)

早稲田大学マニフェスト研究所  
議会改革調査部会

早稲田大学マニフェスト研究所 2022/07/12

早稲田大学マニフェスト研究所

### 調査概要

- 1 調査名 議会改革度調査2021
- 2 調査実施期間 2022年01月31日～2022年02月28日
- 3 調査対象期間 2021年01月01日～2021年12月31日 (2021年中)
- 4 調査対象 都道府県議会及び市区町村議会 全 1,788議会
- 5 調査方法 オンライン調査 (ウェブフォームによる回答)
- 6 回答状況 回答数 1,355議会 / 回答率 75.8%
- 7 その他
  - ・本調査は2010年より実施し、今回12回目 (12年目) の調査となります。
  - ・時点調査については、2021年12月31日現在のものとなります。
  - ・詳細の調査分析結果は、随時公開を予定しています。

### 総合ランキング

政令市・中核市からのランクインが昨年より増え、自治体規模を問わず、全国各地で取組が広がっている。

順位	議会名	スコア	順位	議会名	スコア	順位	議会名	スコア
1	茨城県 取手市議会	3,473	11	京都府 舞鶴市議会	2,467	21	埼玉県 所沢市議会	2,248
2	北海道 登別市議会	3,138	12	茨城県 茨城県議会	2,234	22	神奈川県 横浜市会	2,194
3	岩手県 奥州市議会	2,956	13	兵庫県 西脇市	2,223	23	京都府 京都市会	2,176
4	北海道 芽室町議会	2,831	14	三重県 三重県	2,214	4	愛知県 知立市議会	2,152
5	宮城県 柴田町議会	2,792	15	三重県 四日市市	2,205	25	新潟県 上越市議会	2,121
6	東京都 町田市議会	2,769	16	滋賀県 大津市議会	2,193	26	大阪府 堺市議会	2,119
7	長野県 松本市議会	2,668	17	北海道 栗山町議会	2,290	27	北海道 福島町議会	2,095
8	東京都 多摩市議会	2,591	18	長野県 伊那市議会	2,268	28	福島県 会津若松市議会	2,078
9	愛知県 岩倉市議会	2,582	19	栃木県 那須塩原市議会	2,262	29	兵庫県 兵庫県議会	2,041
10	長野県 飯田市議会	2,525	20	岐阜県 高山市議会	2,258	30	北海道 浦幌町議会	2,013
						30	愛知県 名古屋市中区	2,013

※上位30位：都道府県(3議会)、政令市(4議会)、中核市(2議会)、一般市(17議会)、町村(5議会)

## 舞鶴市議会が近畿地方でトップ!!

### エリア別 ⑤近畿地方 (三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県)

舞鶴市議会が昨年より8ランク上げトップ。最多の京都府(9議会)は、昨年の7議会から増え、多くが市議会からのランクインし、市議会間での善政競争が見られる。

1位

順位	議会名	順位	議会名	順位	議会名
1	京都府 舞鶴市議会	11	滋賀県 米原市議会	21	三重県 亀山市議会
2	兵庫県 西脇市議会	12	京都府 京丹后市議会	22	大阪府 大阪府議会
3	三重県 三重県議会	13	兵庫県 朝来市議会	23	京都府 綾部市議会
4	三重県 四日市市議会	14	京都府 福知山市議会	24	兵庫県 養父市議会
5	滋賀県 大津市議会	15	京都府 亀岡市議会	25	兵庫県 西宮市議会
6	京都府 京都市会	16	大阪府 八尾市議会	26	滋賀県 長浜市議会
7	大阪府 堺市議会	17	京都府 宮津市議会	27	滋賀県 彦根市議会
8	兵庫県 兵庫県議会	18	兵庫県 太子町議会	28	京都府 京都府議会
9	三重県 いなべ市議会	19	三重県 伊賀市議会	29	大阪府 大阪市会
10	京都府 精華町議会	20	兵庫県 尼崎市議会	30	兵庫県 芦屋市議会

※上位30位：京都(9議会)、兵庫(8議会)、三重(5議会)、大阪・滋賀(各4議会)、奈良・和歌山(各0議会)

よくわからないわね～



解りやすく説明します!

## 舞鶴市議会が頑張ったことは何か?

舞鶴市議会が、以下の項目において改革を進めたことが評価されたと考えています。



### 分野別〈重点3分野〉

#### ① 情報共有

- 例Q 住民は会議の様子をネットで容易に見ることができますか?  
A YouTubeで本会議・委員会が見れるようにした。

#### ② 住民参画

- 例Q 住民は議会以外にも議会に参画できる機会や制度はありますか?  
A 意見交換会を開催し市民の意見を政策提言につなげようとしている。

#### ③ 議会機能評価

- 例Q 特定の政策課題の解決・立案に向けた調査活動や政策研究を所管事務調査で行っていますか?  
A 各常任委員会で1年間の重点事項を決定し所管調査研究を行い、政策提言につなげた。
- 例Q パソコン・タブレット端末の利用はあるか?  
A 議員全員が利用とマニュアル作成をした。次年度は議員1人1台の予算を確保しペーパーレスを決めた。
- 例Q 議会のデジタル化・オンライン化を進めているか?  
A 委員会のオンライン出席を認めている。オンライン視察も実施した。

# 6月定例会

会期 6月2日～6月29日

- ☑ **令和4年度一般会計補正予算(第1号)総額1億3450万円を可決**  
低所得の子育て世帯への児童1人当たり5万円の特別給付金・まいづるグルメクーポンの発行など
- ☑ **令和4年度一般会計補正予算(第2号)総額2億8552万円を可決**  
新型コロナウイルスワクチンの4回目接種体制の確保、市内宿泊施設の宿泊者へのクーポン発行
- ☑ **令和4年度一般会計補正予算(第3号)総額3億7130万円を可決**  
コロナ禍で影響を受けた小売サービス業を支援するプレミアム商品券の発行・給食費増加分への緊急支援等

- ◎そのほか、条例の一部改正等7議案の承認と可決
- ◎電力の安定供給を求める意見書の可決

## 一般質問

野瀬 貴則



### 子どもたちの生きる力を育む取組にコーラス(合唱)を選択した理由は

**質問** 本市は6月25日に「子ども達の生きる力を育む」取組の推進の一つとして、舞鶴市、国際的なソプラノ歌手で本市出身の田中彩子さん、小学生から高校生までが対象で今回新たに発足した合唱団の舞鶴子どもコーラス、そして一般社団法人エル・システムジャパンの4者で「音楽を通して子ども達に生きる力を育むまちづくり協定」を締結した。

エル・システムの理念は、家庭の金銭的な事情で参加が難しい子どもや障害を持つ子どもなども含めて、希望する子ども全てに音楽を学ぶ機会を提供するというものだが、今回結ばれた協定締結の趣旨と、それにより行われる「音楽を通して子ども達に生きる力を育む取組」とはどのような取組なのか。

本市の担う役割と、この活動によってどのようなまちづくりが行われるのか、将来の展望を伺う。

### 以前から合唱が盛んで、本市の教育で大きな役割を果たしてきた

**答弁** 本市では、スポーツの分野では元気で活発な子どもたちが、様々なクラブで切磋琢磨する中で生きる力を育んでいる一方で、内気な子やスポーツが苦手な子どもも大勢おり、このような子どもたちに対して、希望する子どもなら誰でも参加できる環境を整える。熱心な指導者がおられる舞鶴子どもコーラスに参加することで、お互いを認め合いながら、仲間同士で教え合い、助け合って、目標を達成する喜びを経験し、誇りと自信、夢と希望を持って積極的に自己実現を図り、生きる力を育むことを目的としている。

市の役割としては、練習会場や発表場所を提供するとともに、必要と認める費用について、予算の範囲内で支援する。

また、この取組を通じて、生き生きと音楽に打ち込む子どもたちを中心に、周囲の大人や地域社会が活性化し、私たちの暮らしに潤いと喜び、まちに元気がもたらされるものと期待をしている。

## 一般質問

鯛 慶一



### ごみ処理の現状と今後の課題は!

**質問** 今多くの自治会で、不燃ごみ収集日の立ち番で困っている現状がある。集積方法・分別方法変更時など、いろいろな観点から配置していると思われるが、このことが自治会運営で結構な負担になっている。そうした中、町内では対応できず、外注の労働者による立ち番で運営されたり、同じ人が何年も、また年何回もされている現状がある。不燃ごみの集積所の管理は自治会で行っているが、立ち番を必ず配置しなければならないのか。また、単位自治会の規模が違う本市で、2人の立ち番が適正なのか。配置人数を市は自治会にどう要請しているのか問う。

また、不燃ごみに限らず可燃ごみも、回収時の取り残しは、一定期間取り残しとした後、市に依頼をすれば市が回収していただけるが、早くに処分したい自治会では自治会で分別し、清掃事務所やリサイクルプラザで直接搬入での処分を望まれる。その場合は搬入受付手数料の免除はないか問う。

**答弁** 不燃ごみの集積所において、配置・管理頂いている自治会で立ち番を配置していただいている。人数には定めがなく、集積所やごみ量の実情に応じ適正な分別案内などができる人数の配置をお願いしている。しかし立ち番の負担については、これまでも様々な場面で負担軽減のご意見をいただいている。

今後は不燃ごみの排出ルール・定着状況や、集積所の秩序維持の観点からの必要性や地域事情を考慮し、立ち番の任意化の検討を進める。次に回収時の取り残しごみに対する搬入手数料の免除について、集積所管理の都合から、各自治会で再分別いただくこともあると思うが、各自治会で再分別して頂いたものを直接搬入する場合においては、清掃事務所、リサイクルプラザ共に搬入手数料を免除することとする。

## 一般質問

水嶋 一明



### 西舞鶴道路等の整備効果と進捗状況を問う

**質問** 府道小倉西舞鶴線は、東西市街地を最短で結び、国道27号のバイパス的な重要な道路である。この改修工事が完了すると、国道27号西舞鶴道路、市街地へのアクセスが強化される。また、港と直結する臨港道路上安久線の整備が完了すると、物流機能が強化され日本海側の重要な港としてさらなる発展が期待されるとともに、観光客の増加にもつながる。

本市が発展していくためには、国道27号西舞鶴道路を中心とした道路整備が早期に完成することが重要であると思っている。

そこで、今整備頂いている道路工事の完成後の交通体系や、交通網の整備の恩恵や効果等はどのように期待されているのか、併せて工事の進捗状況も問う。

### 答弁

上安久・城東地区は、昨年度からJR舞鶴線を越える橋梁の橋脚工事が実施されている。境谷地区では、(仮称)境谷トンネルが貫通し、(仮称)万願寺トンネル工事に向けて菖蒲台の盛土工事に着手される。今田地区では、山側の切土と法面工事が進められ、京田地区では、橋桁の架設に着手される予定。上安から京田までの約4.9Kmの用地取得率は95.2%である。

臨港道路上安久線の用地取得率は78.7%で、国と市が連携して用地取得に取り組みでいく。また、西舞鶴道路と接続する橋梁の橋脚工事に着手される。

府道小倉西舞鶴線は、「東西市街地の一体化による活力あるまちづくり」のため、東西地域の医療連携のほか、災害に強い道路ネットワークを確立する上で、重要な道路である。

まちの骨格を担う国道27号西舞鶴道路、臨港道路上安久線、小倉西舞鶴線を結ぶ道路ネットワークの整備は、本市の次世代を担う社会インフラとして重要な事業で、早期完成・早期供用に向けて、事業の推進に努める。

## 一般質問

今西 克己



### 1. 有害鳥獣捕獲班員の定員の見直しを問う

**質問** 野生鳥獣による農林業の被害が全国各地で深刻化・広域化してから早いもので20年近くになり、その被害の範囲は全国に及んでいる。

ここ数年二ホンジカの個体数が爆発的に増加し、単に農林業に関する食害に留まらず生活道路において車との衝突や、民家の庭先にまで侵入し、花や庭木も食害の被害を受けるなど地域によっては家自体をメッシュや網等で囲うなど、日常生活においても深刻な影響が出ている。

このような事情を踏まえ、増え続ける二ホンジカの捕獲、駆除を推進するためにも本市の定めている有害鳥獣捕獲班員の定員20人の上限枠を是非とも見直すべきと思うが本市の考えを問う。

### 市内3支部猟友会との合同協議を早急に進めて行く

**答弁** 捕獲範囲の定員は、市町村に有害鳥獣捕獲許可権限が委譲される平成12年以前から3支部猟友会の申し合わせにより定められている。野生鳥獣の生息状況が地域により異なる可能性があり、捕獲体制の見直しについて3支部猟友会との合同協議を早急に進めていく。

### 2. 銃器使用の見直しを問う

**質問** 有害獣の環境が大きく変わってきた中で、ツキノワグマについては、第二種特定鳥獣管理計画へ変更され、狩猟が20年ぶりに解禁されるなどツキノワグマへの対策が大きく変更されている。本市においても巻き狩りやツキノワグマの止めさしなど殺処分にはライフル銃の使用が可能になるよう銃規制の見直しを問う。

### 市内各支部猟友会と協議を進めていく

**答弁** 本市においては、これまで巻き狩りやツキノワグマの止めさしでライフル銃の使用を制限していた。今後、近年増加傾向にある二ホンジカの個体数管理の必要性や、誤捕獲したツキノワグマの止めさし時の有害捕獲班員の安全性の確保など市内3支部猟友会と協議を進めていく。

## 一般質問

田畑 篤子



### 1. 包括支援センターについて～生活支援コーディネーターの今後と配置は～

**質問** 高齢者が住み慣れた地域で自分らしく生活し続けるためには、「住まい・医療・介護・予防・生活支援」の5つが一体的に提供する仕組みを構築する必要があり、厚生労働省は、その柱として地域包括ケアシステムという新しい仕組みと生活支援コーディネーターという役割を推進してきた。

生活支援コーディネーターは、別名で「地域支えあい推進員」とも呼ばれている。厚生労働省は、その役割について「高齢者の生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的とし、地域において生活支援および介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者」と定めている。

現在の孤立しない高齢者支援に求められている役割である。今後、市内の配置においてはどのようにお考えか?

**答弁** 本市においては概ね各中学校区を単位に7つの包括支援センターを設置しており市の直営が1か所、その他6か所について社会福祉法人への委託により運営している。生活コーディネーターは、現時点では、城北地域包括ケアセンターに1名の配置である。他の圏域において配置も望ましいと考えている。委託先の法人に配置をお願いしてまいるほか、適した人材の発掘や育成支援などの取り組みを進めてまいりたい。

### 2. 「介護職の医療ケア研修」の課題は、実習場所と指導者不足

**質問** 介護現場の課題解決のひとつとして、「医療ケア研修」を市内で初めて開催しているところである。課題解決に向けて、市として、実習が実施可能な施設の対象を拡大し、介護現場のニーズにマッチした対応となるよう京都府に対して実施可能施設の拡大を要望すべきと考えるが。

**答弁** 実習は、医療機関での受け入れは対象となっていない。本市における介護職員の資質向上に寄与するものと考えことから受け入れの可能性など京都府とも相談したい。実習指導者は、市民病院での養成を予定している。

## 討論



上野 修身

新政クラブ議員団を代表して今期定例会に上程された第31号議案、第32号議案および第34号議案から第38号議案に対し賛成、並びに承認の立場から討論をおこなう。

第34号議案、令和4年度舞鶴市一般会計補正予算(第2号)であるが、新型コロナウイルス感染症に起因する補正で、財源は、国・府からの支出金が多くを占める。まず「北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金」369万円。新型コロナウイルス感染症の影響で定期外運輸収入の大幅な減収等の影響を受けた京都丹後鉄道の安定的運行継続を図るための支援で賛成する。

次に、児童福祉施設における感染症防止対策の充実・強化のため「児童福祉施設等新型コロナウイルス感染症防止対策経費」に505万円。

また、「市立認定こども園等施設整備事業費補助金」2,384万7千円は、民間の認定

こども園が実施する施設整備を支援。「市立認定こども園移行改修費支援事業費補助金」は、「幼保連携型認定こども園」への移行を目指す市立幼稚園に対して5,202万6千円、これら、待機児童ゼロを確保する上でも重要であると考えている。次に、国において、新型コロナウイルスワクチンの4回目接種の方針が示されたことから、「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費」6,260万円「新型コロナウイルスワクチン接種事業費」6,500万円。舞鶴市においては7月から4回目接種が始まると聞いている。安全、円滑に進められるよう願っている。

第37号議案「舞鶴市都市公園条例の一部を改正する条例制定について」であるが、舞鶴自然文化園において、つばき園・アジサイ園とともに、紅葉園を設け維持管理のため有料公園施設とすることには賛成する。以上、他の議案を含め、全ての議案に賛成・承認し、討論とする。

# 新政クラブ議員団

## 行政視察実施！

新政クラブ議員団7名の議員は、去る7月28日及び29日の2日間、下記のとおり岐阜県、富山県において行政視察を実施してまいりました。今回の視察先で学ばせていただいた先進的な取組や知見は、今後の舞鶴市の市政に反映させてまいります。



### 1 岐阜県野生動物管理推進センター

岐阜県岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学構内



本年4月、野生動物による被害への対策を加速、強化していくための支援組織(シンクタンク)として岐阜県と岐阜大学が共同で「岐阜県野生動物管理推進センター」を設置されたものでこのような組織は国内では初めてとなるもの

#### 視察項目

- ▶ 野生動物個体群の現状
- ▶ 被害対策の手法と留意点(近年の農村社会における課題)
- ▶ ツキノワグマの生態と分布、個体の増加状況について
- ▶ 近年のツキノワグマの習性と食性の変容について
- ▶ 近畿北部は全国的にみても増加しているがその要因について



#### 所感

岐阜県野生動物管理推進センターの運営をサポートする岐阜大学の応用生物学部の教授がセンター長となり、その下に選任教員として人獣共通感染症学、動物繁殖学、森林動物管理学の教授が入っている。さらに、動物生態学専門の特任教授を加えたスタッフが配置され、最新の技術と知見に基づいた野生動物の生息

状況、行動解析、対策等を調査研究されており、生物多様性の保全管理、被害対策、動物進化について学ばせていただき大いに参考になった。

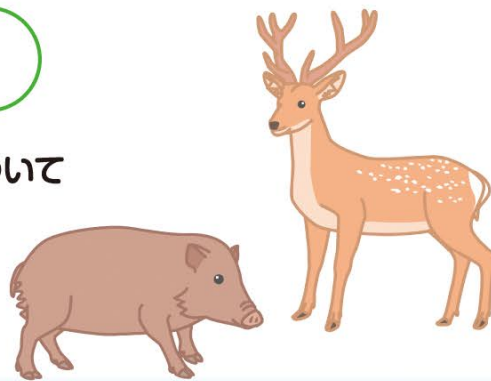
このセンターは、野生動物管理学の研究拠点として生態学、獣医学、感染症学、社会科学、教育学などの多様な視点での研究が行われており、今後、各部門の調査研究を注視していく。

### 2 高山市役所

岐阜県  
高山市花岡町2-18

#### 視察項目

- ▶ 有害鳥獣個体数の減少に向けた取組について
- ▶ 捕獲員の現状と連携の在り方について
- ▶ 捕獲後の処理(埋設・焼却)について
- ▶ 被害防止柵等の支援の状況について



#### 所感

高山市では、有害鳥獣対策実施隊設置要綱を制定し、捕獲技術者と補助者からなる組織を立ち上げ捕獲活動を行っている。この隊の隊員は国の特措法に基づき非常勤の公務員としている。

高山市では、地域ごとに実施隊長を長として11隊編成し、被害地でのわなの設置や捕獲活動を行っている。さらにツキノワグマの出没時に対応するフローも策定するなど先進的に取り組んでいる。

### 3 小矢部市役所

富山県  
小矢部市本町1-1

#### 視察項目

- ▶ 有害鳥獣対策について
- ▶ 議会のペーパーレス化について



#### 所感

小矢部市では、有害鳥獣対策協議会を立ち上げ、捕獲隊・実施隊を編成している。捕獲隊は小矢部市有害鳥獣捕獲許可等取扱要綱を、実施隊は小矢部市鳥獣被害対策実施隊設置条例を制定し、市の職員もそれぞれの隊に入り活動している。市長が先頭になって各対策に取り組まれており小矢部市の有害鳥獣対策に対する熱意が強く感じられた。新たな取組として維持管理が必要なく鳥獣を撃退する装置、道路にグレーチング型侵入防止柵を実証実験するなどの取組を行っている。

また、ペーパーレス化についても、議会と執行機関がツールを同じくするタブレット端末を導入し、会議システムを共有するなど、各定例会での資料の共有化を図り、効果的・効率的な議会運営を行っている。



# 議員活動を振り返って!

2022年7月現在

2018年11月の選挙により多くの市民の皆様のご支援により、4年間仕事をさせていただきました。

新政クラブ議員団が最も重要課題として取り組みましたのは、「議会改革」であります。「議員はどんな仕事をしているのか?」という市民の皆様のお問いに、お答えできますように議員活動の【見える化】に努めたり、議会開催中のYouTubeでの配信に加え常任委員会の映像も

ご覧いただけるようになりました。また、議員の活動量調査も実施し少しでもご理解いただけるよう協議を重ねました。議員の仕事内容を知り、ご自分の選んだ議員の仕事ぶりをしっかりと確認していただき市民の皆様の手で議員を鍛えていただければという思いです。

私たち議員は、公約を掲げて選挙に臨みました。各議員の振り返りと、議員活動の一場面をご紹介します。

## 今西 克己 (いまにし かつみ)

8年前、私は多くの市民の皆様にご訴えました。「どんなことでも結構です。私に仕事をください。仕事をさせてください」と、何度も何度も繰り返し大声で訴えました。

私の住む加佐地域は、由良川流域を生活圏とする地域で、平成25年から相次ぐ台風の襲来、豪雨等により幾度となく災害救助法の適用を受けるなど、甚大な被害を被り、こころの折れそうな日常生活の中、地域住民の皆様とともに防災、減災に向け取り組んでまいりました。

この間、急傾斜地、中小河川、由良川本川等の整備、輪中堤、宅地高上げ等の整備を舞鶴市をはじめとする、国・府の関係機関と協議、検証する中で進めていただき、水防災、治水対策の完了に向けともに尽力してまいりました。一方、当時の議会においては、世間感覚からはほど遠いICT環境にあったため、先輩、同僚議員とICT検討委員会を立ち上げ、まずはWi-Fi環境の構築と、効率的な議会運営の基礎となるタブレット端末の導入、ソフトウェアの運用等議員のスキルアップに取り組んでまいりました。以来、市議会においては、議会活性化特別委員会等を設置する中で議会基本条例を策定するなど、効率的、効果的で開かれた議会を目指しがんばっているところであります。

議員たるべきもの、市民に訴え、負託を受けたならば、その責務の重さを背負いながら舞鶴市の将来をより良いものにするために働くべきであります。私も、今後もより一層精進して、議会・議員活動に取り組んでまいります。



佐藤外務副大臣(当時)と災害現場視察

## 水嶋 一明 (みずしま かずあき)

市議会議員としての4年の現任期のうち3年間は、新型コロナウイルス感染症が世界中で感染拡大していきました。病院等医療施設では、入院受け入れの病床数が不足し、また、緊急事態宣言やまん延防止等特別措置の発出などにより、日常生活が制限を受けました。経済活動が低迷する中、国・府・市の連携のもと、多々見市長を先頭に理事者の皆様と共に、ワクチン接種の実施や支援施策が早期に実施されるよう取り組んできました。また、3回目のワクチン接種も多数の皆さんが受けられ、日常の制約も徐々に緩和される中ではありますが、再び感染拡大の兆しが見られます。感染症の拡大が収まり、これまでの生活を取り戻せる日が一日でも早く迎えられることを祈っています。

さて、今日、本市においては、人口減少、過疎化、子育て・教育の充実、高齢者支援、産業の活性化等多くの課題が山積しています。私も、議員団の一員として課題解決のために取り組んでいるところであります。また、市民や地域の皆様からの要望意見等は、現地へ赴き地域住民の皆様と一緒に課題を確認し、実現に向けて市長、理事者へ届けております。これまでに、高野川伊佐津川の治水対策のほか、災害時の自家用車の待避所の開設、安全な通学路の確保のための横断歩道の設置や危険な道路の速度制限規制の実施等々、現地現場主義で課題解決に取り組んできたところであります。

今後とも、「より住み良い地域づくり、まちづくり」を目指し「地域と行政のパイプ役」としてより一層精進していく所存でありますので、よろしくお願いいたします。



住民とともに現地調査

## 田畑 篤子 (たばた あつこ)

私は、人生初の議会という世界での環境に少しでも早く馴染み、仕事ができるようにと学習を重ねてきました。そして3つの公約を果たすために、この4年間ひたすら邁進してまいりました。やりたいことがあって目指した議員ですので、この約束を果たすことが何より優先でした。初めての議会で、一般質問の壇上に立った時、ここが市民の思いを私が公に述べられる場なのだと感動させました。議員としての活動の実感を感じました。

公約には「1.子育て支援」「2.終の棲家について」「3.女性活動支援」を掲げていました。看護職としてその視点は常に市民の健康と暮らしのありようでした。医療、介護、福祉、障害、高齢者支援に関して取り組むべき課題はたくさんあります。例えば「医療的ケア児担当課長」の設置などは、なかったことが不思議なことでした。誰ひとり取り残さない政策のためには、見過ごされている現実の問題が山積しています。そのことを市政に取り組んでいただけるように、課題解決の手筈を整え実行していくほかありません。

議員としての活動範囲は、どんどん拡大しました。遣り甲斐のある仕事であり、第二の天職だと思っています。支援して下さった方々に恥じない仕事を心掛け、私にしかできない強みの仕事をたくさんたくさん見つけました。多くの方々との出会いとつながりが成果となりました。この充実した4年間を土台にさらなる飛躍を遂げ、今後も私らしく議員活動を邁進していきたい所存です。



里山を明るくする会と東駅前整備



## 上野 修身 (うえの おさみ)

市民の誰もが「ずっと住み続けたいまち舞鶴を」と願っておられると考える。しかし近年ロシアによるウクライナ侵略、2年半が経過しても収束のめどがたたない新型コロナウイルス感染症など国際情勢を含め不安定な生活を余儀なくされている。我が国においては、一段と少子化・高齢化・人口減少が進む中、舞鶴市においても、それらに起因するところの課題が山積していると考えている。

私も、この1年間議会においては、「常備消防・消防団ともに、人口減少の現状から、将来人口推計を考慮し、時代に即した消防体制・消防機能のあり方について」また、「自然災害防止・地球温暖化防止など、森林の役割・重要性・公益的機能維持について」「森林経営管理制度における、山林の所有者不明・境界不明について」「サル・イノシシ・シカなどの有害鳥獣被害の現状と個体数の傾向について」「赤れんが周辺等まちづくり事業について」「子育て環境日本一を目指したまちづくりについて」など、質問・委員会質疑をしてまいりました。今後も「住み続けたいまち舞鶴」を目指し頑張ります。



西舞鶴道路工事現場視察

## 眞下 隆史 (ましも たかし)

○前期4年と比較し地域課題への対応として、ただ地域の課題を行政に伝えるだけでなく、地域が取り組める課題と行政が必要な課題をしっかりと整理する作業を、行政が判断するのではなく地域が考えることを重点におき、自助・共助・人公助の明確化に取り組んでいる。

○議員個人としての振り返りでは、一般質問をした定例会中に追加の補正予算として、質問した内容が予算化されたことは私として初めての経験であり、大変光栄な実績と感じている。

○議会機能の充実・市民の皆さんに対する議会の見える化・議員の質向上に取り組むことで、舞鶴市議会全体を底上げし市民の皆さんに役立ち・議会への理解向上を達成すべく、新政クラブ議員団として一生懸命取り組み、議会内で議論してきたと実感している。

○私も現在副議長として、自らの仕事・役割を増やしていく中で、議員自身がプライドを持って働ける職であることと、市民の皆さんにご理解いただけることを目標(有言実行)に置き、今後もさらなる議会改革に努めていく。



ウズベキスタン応援団受け入れ式

## 鯛 慶一 (たい けいち)

12年という議員活動の中で常に未来を見据え、市民の皆様のお安全安心を中心とした政策提言を行ってきました。新しいことをするという事は予算が発生し、即座に対応いただけなかった提言も多々ありましたが、今まで蒔いてきた種が芽を出し花を咲かせ実を結んできたのがこの4年間であったと感じます。

防災に関して大きく前進できた提言は、平成28年6月定例会にて一般質問をしたFMまいづるの電波を利用した自動起動ラジオの導入。令和3年10月からの運用開始となり、防災行政無線との連動により、声の届かない場所にお住まいの方も自動で電源が入り、安全安心につながったと思います。

さらに誰よりも早く東舞鶴の浸水対策に目を向け、令和2年からいろいろな対策を考えたこと。また平成24年3月定例会で政策提言をした、救急車を呼ぶ前のコールトリアージ導入については、私の提言では舞鶴市の消防でできないかと提言でしたが、予算や人員の確保など単独での運営は厳しいとのことでありましたが、救急安心センターきょうと(#7119)との連携で運用が開始されました。

今もエネルギー対策や自治会運営など今すぐ対応の必要なもの、未来に向けて取り組まなければならないことをしっかりと区分し、自分は勿論、両親、子ども、孫、ひ孫まで、この舞鶴に住み続けたい環境づくりにこれからも尽くしてまいります。



地域の山崩れ対応

## 野瀬 貴則 (のせ たかのり)

今までの人生の中で一番忙しく、充実した4年間でした。議員としての責務を果たすべく、地域や本市の抱える課題を行政にぶつけてきましたが、解決への道のりはどれも険しく、跳ね返され自分の力不足を痛感したこともありました。そんな中で多くの先輩議員に助けられ、指導を受けながら会派としての代表質問や討論の機会を経て、成長することができました。

議会ではIT・子育て・環境・防災の分野で積極的に質問を行い、市の計画や現状を広く市民にお伝えすることを意識しながら、課題や今後の在り方について訴えかけてきました。また市民に開かれた議会を目指し、コロナ禍で集まらない事態を想定したりリモート会議環境の構築や、ペーパーレスの推進など、議会の活性化において私の専門分野を活かすことができた場面もありました。

議員としてまだ道半ばであり、これまでの経験を生かすためにも今まで以上に市民の声をたくさん聞いて、市に現状を訴えて、一緒に考えることが何より必要だと考えています。

4年間で学びました「ぶれない信念を持つ」「一歩ずつ確実に前進」「将来を見据えて行動」この3信条を己の柱として、今後も舞鶴市の発展と市民の生活向上を目指し、活動してまいります。



多々見市長に地元要望書提出